

CONTENTS

- 徳永教授(国際大政経学部)に「和辻文化賞」(2面)
- 第10回グローバルマインド賞 決定(3面)
- 滝井高バレー、大和田高ソフトが 全国大会へ(4面)

GLOBAL MIND
グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園広報室
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57
☎06(902)0787(代) FAX06(902)8961
E-mail:koho@ha.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

編集手帳

▽外観は着実に復興、復興を遂げる神戸。阪神大震災の風化がいわれている。大企業の倒産続出など目まぐるしい社会にあつて、3年前といえはもう「過去」なのだ。震災被害地に当時、多くの学生や教職員が居住、学園にとつても一大出来事だつた。が、当時の学生の大半は卒業、いまキャンパスで震災の疼きを感じることはない。しかし実は、なおも大きな心の痛みをかかえ、懸命に克服しようとしているひとたちも少なくないことを、短大生嶺さん(6面ひとこと)に教えられた。震災時の在学生らの罹災状況はつかめたが、その後の入学がいかに生きのび、生き抜いてきたかの視点に欠けていた。嶺さんが「明日への旅立ち」に備えている姿は、我々に勇気を与える(宗)

あすに向かつて総勢2316名旅立ち
大阪国際学園

出会いと別れの春。今年も大阪国際学園の各学校でそれぞれの一生の思い出となる行事・卒業式が2、3月に開催された。温かく育んでくれた恩師や両親に見守られて、学生・生徒・園児のあわせて2316名が新たな希望を胸に巣立っていった。

出合いと別れの春。今年も大阪国際学園の各学校でそれぞれの一生の思い出となる行事・卒業式が2、3月に開催された。温かく育んでくれた恩師や両親に見守られて、学生・生徒・園児のあわせて2316名が新たな希望を胸に巣立っていった。

川又学長、最後の式辞(OIU)

国際大の卒業証書・学位記授与式は3月25日、学部別に大講義室で行われた。この日、真新しいスーツや着物、袴などに身を包み、やや緊張した面持ちで出席した卒業生たちは505名。大学院経営情報学専攻部283名、政経学部214名、勉学に、そしてキャンパスライフに精一杯励んでいた。OIU生らは、希望と不安を胸に、卒業の喜びをかみしめながら、新しい世界への第一歩を踏み出した。また1月31日には、なすスタートを切った。式では恒例の学

短大英語科の大半が卒業

一方、女子大・短大は3月18、19日に奥田メモリアルホールで開催。女子大の卒業証書・学位記授与式は18日、コミュニケーション学科93名、人間健康科学科54名が卒業。短大の卒業証書授与式は19日、家政科241名、栄養士コース32、生活文化コース209、英語科208名、幼児教育科179名(保育コース119、音楽コース30、体育コース30)、国際文化学科306名、国際ビジネスコース146、情報ビジネスコース160)が卒業。それぞれ新たな

滝井高(2/27) 大和田高(2/28) 大和田中(3/16)

大阪国際大学長に西田学部長 各学校長を選任(理事会)

2月10日の学校法人大阪国際学園理事会において、任期満了などに伴う各学校長の選任が行われた。▽大阪国際大学 川又良也学長の3月末任期満了による後任に西田俊夫経営情報学部長(新任)▽大阪国際女子大学 短期大学 三木正伸学長(3月末任期満了)は再任。就任は4月1日付で任期4年。また▽大阪国際滝井高等学校 奥田三郎校長は退任、後任には福井昭典副校長(新任)▽大阪国際大和田中 高等学校の関 榮義校長(3月末任期満了)は退任、後任には奥田三郎大阪国際滝井高等学校長(新任)をそれぞれ選任。就任は4月1日付で任期2年。



大阪国際大学 新学長 西田俊夫

昭和22年7月31日、兵庫県生まれ。昭和25年京都大学理学部卒。甲南大学教授、大阪大学教授を歴任。大阪大学名誉教授。平成24年4月大阪国際大学学長に就任。平成25年4月経営情報学部長に就任。また5年4月から8年7月まで大学院経営情報学研究科長。平成7年7月から同年9月まで国際大理事長。事務取扱。平成6年9月学園理事に就任、現在に至る。専門は経営科学。



大阪国際女子大学 短期大学 学長 三木正伸

昭和14年8月4日、兵庫県生まれ。昭和37年神戸大学理学部卒。昭和43年大阪大学大学院工学研究科博士課程(精密工学)専攻修了。昭和53年4月帝国女子大学助教授に就任。55年4月教授。女子大・短大 学生部長、短大部長、女子大・短大副学長を経て平成6年女子大・短大学長に就任。また、昭和63年5月理事。評議員、平成6年6月副学園長、7年9月常務理事。9年10月副理事長に



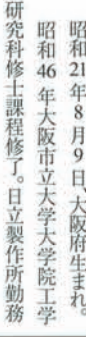
大阪国際滝井 高等学校 新校長 福井昭典

昭和15年11月12日、奈良県生まれ。昭和38年神戸大学文学部卒。同年学園へ。帝国女子大学大和田高等学校 教頭、大阪国際滝井高等学校教頭を歴任。平成8年4月から滝井高校副校長。就任、現在に至る。専門は応用物理学。



大阪国際大和田 中学校 校長 奥田三郎

昭和21年8月9日、大阪府生まれ。昭和46年大阪市立大学大学院工学研究科修士課程修了。日立製作所勤務を経て昭和58年学園へ。大阪国際大学 事務局長、帝国女子大学 短期大学 事務局長、法人本部事務局長を経て平成6年学園プランニング推進本部長に就任。平成7年9月から大阪国際滝井高等学校長。



大阪国際女子大学 学長 三木正伸

昭和15年11月12日、奈良県生まれ。昭和38年神戸大学文学部卒。同年学園へ。帝国女子大学大和田高等学校 教頭、大阪国際滝井高等学校教頭を歴任。平成8年4月から滝井高校副校長。就任、現在に至る。専門は応用物理学。



大阪国際滝井 高等学校 新校長 福井昭典

昭和21年8月9日、大阪府生まれ。昭和46年大阪市立大学大学院工学研究科修士課程修了。日立製作所勤務を経て昭和58年学園へ。大阪国際大学 事務局長、帝国女子大学 短期大学 事務局長、法人本部事務局長を経て平成6年学園プランニング推進本部長に就任。平成7年9月から大阪国際滝井高等学校長。

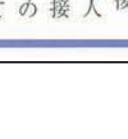
卒業生たちが語る 10年後の日本と私

あすに向かつて、一歩踏み出した卒業生たち。その彼や彼女らに、10年後の日本はどんな国になっているのか、そしてその時自らは何をしてどう過ごしているのかを予測してもらった。あらゆる分野の専門家の予測がほとんど的確を得た。激動のこの世紀末。若者たちの近未来予想ははたしてどうか。

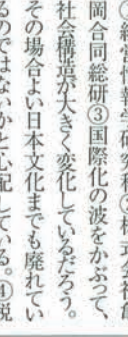


大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。

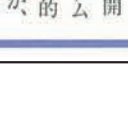


大学院 櫻園るみさん



大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。

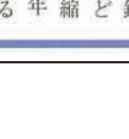


大学院 櫻園るみさん

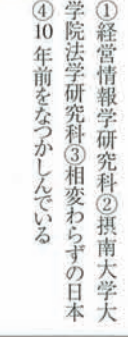


大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。



大学院 櫻園るみさん



大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。



大学院 櫻園るみさん

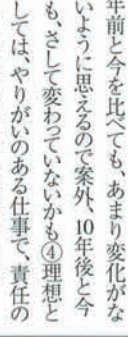


大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。

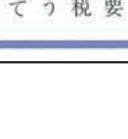


大学院 櫻園るみさん



大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。



大学院 櫻園るみさん

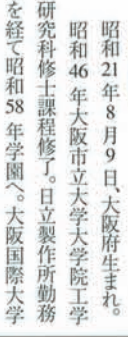


大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。



大学院 櫻園るみさん

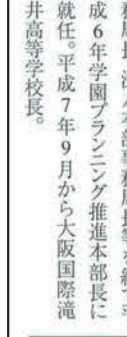


大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。



大学院 櫻園るみさん



大学院 櫻園るみさん

①経営情報学研究科②株式会社亀岡合同総研③国際化の波をかぶって、社会構造が大きく変化しているだろう。その場合よい日本文化までも廃れていくのではないかと心配している。④税理士として幅広く仕事を手掛けている。⑤思いを胸に卒業した。



大学院 櫻園るみさん

凡例
①学部学科(高校はコース)②就職先・進路先③10年後の日本④10年後の自分

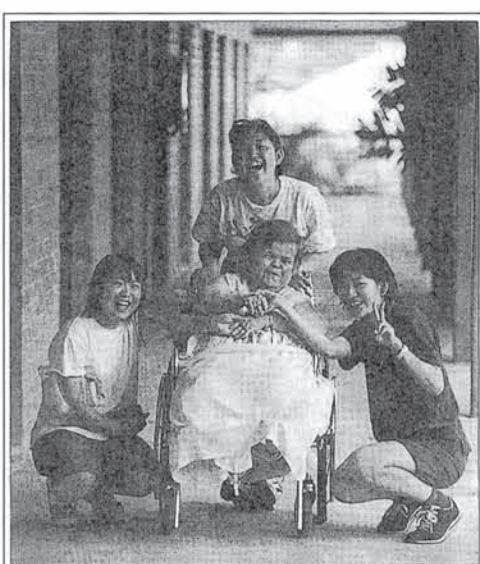
6面へ続く

人間健康科学科 豪ケアズで研修

大阪国際女子大 地方新聞に模様を掲載

女子大人間健康科学科2回生以上を対象に2月1日から3月3日、「スポーツ・健康学群海外研修」がオーストラリアのケアズで行われた。

平成9年7月に続き、今回が2回目



HANDS ON: Students (from left) Miki Kawakami, Mayumi Kubota and Yuka Nagano with Freemasons' home resident Enid Stiff, 71. Picture: Peter Smith

Cairns 'study mecca' hope

A STRATEGY to make Cairns known as a place for serious study could boost overseas visitor numbers to the region, a senior education worker has said.

Barry Hussey, studies director at University Language Centre Cairns, James Cook University, and Cairns' potential for students visiting homes for the aged as part of their curriculum within the health science faculty.

He said more students would see Cairns as a place for "serious study in paradise" — the catch phrase for a cluster of international education providers. "Cairns is already on the map as a holiday destination — what we are trying to do now is to place it equally on the map as a serious study destination," Mr Hussey said.

Visits to a childcare centre, Capersara, Freemasons' Home and Bethel's Home for the Aged showed how both the young and old were looked after in Australia.

"Aged care in Japan is now becoming critically important as the population ages."

"They have come for a very crowded program, combining English language and Australian studies with a pretty full program of sport and plenty of visits to places of relevance to what they're studying in Osaka," Mr Hussey said.

ケアンズ地方紙(地元のTVでも放送)

の海外研修。参加したのは2回生11名、3回生2名。福田真規夫教授、西岡ゆかり講師引率のもと、13名は市内近辺のゴルフ場でリゾートスポーツ実習や健康維持・増進施設、老人ホームなど

フリンダース大学は、創立1966年、学生総数1万弱の国立大学である。学生総数の内50ヶ国以上の約700名の留学生がいる。大学の名称は1802年にセント・ヴィンセント湾岸(大学のキャンパスから見渡せる)に上陸した最初のヨーロッパ人である冒険家マシ

文化・芸術都市の単一キャンパス大学

は、19世紀前半に計画的に建設された都市で、人口約百万。オーストラリアでは文化・芸術都市として知られ、多数の美術館、博物館がある。

フリンダース大学は、オーストラリアでは珍しい単一キャンパスの大学で、180ヘクタールの広大で景観豊かな地に、多

来学する予定で、本学からは7名の学生が2月下旬から5週間の予定で短期留学。また人間科学部コミュニケーション学群の海外研修先の一つでもあるので、今後学生および教員間の活発な交流が期待される。

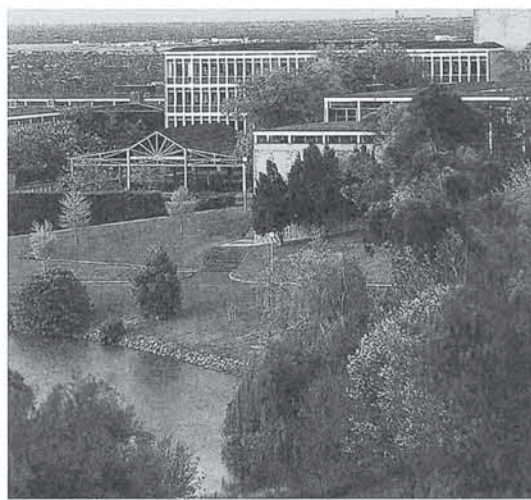
(大阪国際女子大・短大 国際交流課長 林 一)

提携校紹介

大阪国際女子大・短大

フリンダース大学

(オーストラリア)



景観豊かで、広大なキャンパスを誇るフリンダース大学

ユー・フリンダースに由来する。南オーストラリア州の州都アデレードの近郊に位置し、整備されたバス便により、市街地へのアクセスは容易。アデレード

今年春には、フリンダース大学から、1名の交換留学生が訪問し意見交換を行った。

数の建物が点在する。同大学には、大きく分けて健康科学、社会科学、教育・人文科学、法律・神学、工学、科学の学部があり、准学士、学士、修士、博士のコースがある。また、多様な学問分野については研究センターが充実しており、キャンパスの一角にはバイオテクノロジーと地球科学を中心としたサイエンスパークもある。

同大学と本学は、昨年4月に、両校間の学生、教員の交流推進を図るべく、「覚書」を取り交わした。これを記念し、7月にはフリンダース大学学長が本学を来訪訪問されたが、本学学長も昨年春にフリンダース大学を訪問し意見交換を行った。

留学生レポート

短期留学を終えて

大阪国際滝井高校2年生
青木 由依



少しの不安とたくさんの夢や希望を背負って、私はカナダに降り立ちました。短期留学生としてハーバーギヤル校で6週間を過ごすためです。同校は伝統を感じさせる重厚な建物でしたが、その中で学ぶ学生は、とても自由で伸び伸びしていて、そしてそれぞれが善悪を判断する力を持ち、しっかりと自分の考えを持って行動していて、その姿も考え方も私りずと大人だと感じました。また、ホストファミリーも暖かく迎えて下さり、色々な経験をさせてもらい、楽しく過ごすことができました。

カナダで得たものは数えきれない程あり、私の宝物となりました。それは、「人の優しさ」、「暖かい心」、「生きた英語」、「広大で美しい自然」、そして「少しの自立」等です。別れの時に、私の目からこぼれ落ちた涙が、私にとってこの6週間がどんなにすばらしかったかを物語っているようでした。

このような機会を与えて下さったことに感謝しています。本当にありがとうございました。

(97年9月から10月にかけてカナダ・ハーバーギヤルカレッジへ派遣留学)

留学生別科での自信から大学へ

大阪国際大学
平成9年度前期留学生別科生
Kariyawasam Udayasiri



スリランカから留学している私は、日本に来てもう2年半になります。1年半、日本語学校で日本語の勉強をして、97年の春に大阪国際大学の別科生として入学しました。入学してから、私は日本の現実がよくわかるようになりました。つまり日本人の行動や文化や伝統などを習うにつれて、日本もスリランカもほかのアジアの国々もすべて同じ風土の中で民族や文化などが培われて来たと言った事がありました。また、本学で勉強している間に様々な年齢の日本人と知り合い、日本人の中にとけ込んでいきました。それで、私が日本に来たばかりのころから頭に残っていた印象「日本での留学生活は苦痛だ」と言う事がいつの間にか消えてしまいました。「留学生活は決して苦しくはない」と思うようになりました。大阪国際大学の学部に入学、大学生としてあと4年間も勉強する自信が生まれたのです。それほど楽しい勉強になった別科での一年。

大学での勉強は経営情報ですが、日本の経済についてもすごく関心があります。私のささやかな夢は、日本で学んだ知識を活かして日本とスリランカのかけ橋になる事です。(97年4月留学生別科入学、98年1月修了)

徳永教授(大阪国際大学 政経学部) 「和辻文化賞」

「反ユダヤ主義思想史研究の「ヴェネニスのゲット」にて」



大阪国際大学 政経学部教授
徳永 博政

2月9日、兵庫県姫路市出身の哲学者、和辻哲郎にちなんで同市が設けている「第十回和辻哲郎文化賞」を受賞。受賞作は「ヴェネニスのゲット」にて「反ユダヤ主義思想史への旅」(みすず書房)で、

授賞式は3月1日、姫路市市民会館で行われた。

本書は、哲学者である著者の綿密な論考による思想史的研究の書だが、サブタイトル「反ユダヤ主義思想史への旅」とあるように紀行・エッセイ・論文による「旅」の間に書かれ、折にふれ各種雑誌な

を視察した。また、その様子がケアンズ地方紙の地方紙Ⅱ写真Ⅱや地元テレビで取り上げられた。

ヘッドラインニュース

- 10/30 大和田中・高 渉外担当の廣川弘光氏、全日本中学校長会主催「中学校教育五十年記念式典」で町村信孝文部大臣から感謝状(東京国際フォーラム)
- 11/15 短大 幼児教育科音楽コースの学生が守口市立大久保小学校で音楽鑑賞会
- 11/15 国際大、女子大・短大 第5回体育祭(女子大・短大友会運動部会主催)
- 11/15 国際大 外国人による日本語スピーチ大会に学生2人出場(メセナひらかた)
- 11/25 国際大、女子大・短大 第10回全学English Speech Contest(20人の学生が参加)
- 11/29 女子大 キャンパス見学会
- 11/29 大和田高 前田志麻さん(2年)が「府高校英語弁論大会」で、府教育委員会賞を受賞(東京第一ホテル堺)
- 12/2 女子大・短大 第2回教職員研修会講師に弁護士稲田朋美さん(テーマ「少年犯罪と少年法の課題」)
- 12/4 女子大・短大 協定校の遼寧師範大学(中国)から学長、外国語学部長、外事担当者が本学訪問
- 12/11 女子大・短大 全学講演会、講師は労働省大阪婦人少年室長の内野淳子さん(テーマ「法改正でどう変わる女性の職場」)
- 12/11 女子大・短大 英語教育劇団「ホワイトホース」による英語劇を鑑賞
- 12/11 短大 家政科の大浦安弘教授(短大部長)が、平成9年度大阪府栄養士養成業務功労者表彰を受賞
- 12/15 国際大 第3回人権教育講演会、講師は政経学部教授の高田 敏氏(テーマ「プライバシーを考える」)
- 12/15 短大 家政科「課外講座」、講師は管理栄養士の寺田良子氏(テーマ「食生活のアレルギーについて」)
- 12/18 短大 幼児教育科「第6回音楽コース演奏会」(ルミエールホール)
- 平成10年
- 1/15 滝井高 長野五輪聖火リレーに生徒2名が参加、西日本・太平洋ルートを走る(財)守口市文化振興事業団との共催による公開講座(守口市生涯学習情報センターMOVE21)
- 1/17-2/21 女子大・短大 経営情報学部の山岸みどり教授が、総務庁主催「世界青年の船」に指導官(心理学、異文化間教育の専門家)として乗船(3/19に帰港)
- 1/21 国際大 「第2回スポーツメディカル講習会」、講師は政経学部の蛭間栄介講師(内容「足首関節のリハビリ及びテーピングの仕方」)
- 2/3-3/2 女子大・短大 オーストラリア語学研修、アメリカ語学研修(参加人数は15人、17人)
- 2/12 女子大 平成9年度人間科学部卒業研究発表会
- 2/16-21 短大 幼児教育科体育コース1回生を対象にスキー実習(長野県飯山市戸狩温泉スキー場)
- 2/18-19 女子大 平成9年度スポーツ・健康学群国内研修
- 3/2-3 国際大 平成9年度リーダーズトレーニング(グリーンビレッジ交野)

直言



魅力ある教育システムを構築

北大阪商工会議所会頭 樋口 宗次

日本の経済社会は、世界的な市場経済と大競争時代のなかで、国際化・情報化・技術革新などにより、いま歴史的な転換期を迎えており、その

また、「日本におけるユダヤ主義思想」とともに15世紀末以降の西欧の輝かしい歴史の裏面を理解するにふさわしい力作。

21世紀初頭には、18歳人口の激減期を迎え、少子化を真剣に考えられてユニバーシティ・アイデンティティを重視され、大阪国際大学の建学の精神に基づき、個性豊かな魅力ある一貫した教育システムを築かれ、開かれた総合学園として地域社会に情報発信されることを期待致します。

動きは急激であり、このような状況の中で企業が自己革新を図りつつ、より柔軟な発想の転換と的確かつ機敏な行動力のある人材の育成が不可欠であります。

大阪国際学園は、創立以来今日まで全人教育を理念とした「世界に通じる心」を建学の精神として、独自の学園

つづけることが懸念されております。又、国際情報発信力に欠ける国には、明るい未来などありません。

そのためには、学生諸君がグローバル・マインドを理念として、高度な専門性を身につけられると共に、外国語によるコミュニケーション能力を磨かれ、世界の舞台で活躍

づくりと現代社会の要請にこたえるべく国際人を育成されています。

これまでの日本は、単一言語を使う単一民族であることのメリットにより工業化に成功してきましたが、今や国際化・情報化の進展により、それが大きなデメリットとなり

北大阪商工会議所は、国際交流事業として中国上海市長寧区、アメリカ・ニューポートニユーズ市、オーストラリア・ローガン市やカナダ・オークビル市などと経済交流を行うとともに研修生の受け入れや併せて、管内では産学交流事業として就職懇談会やマースクールなどの事業を展開しています。

第10回グローバルマインド賞 受賞作品

(敬称略)

グランプリ賞

安東 佐智
国立大阪教育大学教育学部
附属高等学校天王寺校舎1年(大阪)
副題『世界のはざれ』

準グランプリ賞

上野 実輝彦
県立大垣北高等学校2年(岐阜)
副題『真の国際化とは』

毎日新聞社賞

國安 清香
私立横浜雙葉高等学校3年(神奈川)
副題『マザーテレサから学んだ国際人としての在り方』

佳作

榊原 学
県立岡崎高等学校2年(愛知)
副題『ネパールでの体験から』

橘 生子
私立聖和女子学院高等学校3年(長崎)
副題『新しい日本人像を求めて』

金丸 祥子
県立城南高等学校3年(福岡)
副題『国際化、国際人への第一歩』

間島 藍
私立吉祥女子高等学校2年(東京)
副題『これからの私たち』

大田 千智
県立高岡南高等学校2年(富山)
副題『ネパールの学校と日本の学校』

佐藤 夏江
県立氏家高等学校3年(栃木)
副題『小さな世界』

南雲 聖子
私立白百合学園高等学校3年(東京)
副題『真の国際交流とは』
(佳作については受付番号順)

学校賞

私立吉祥女子高等学校(東京)

第10回グローバルマインド賞決定

グランプリ賞に安東佐智さん

地元大阪(大教大附・天王寺高)「世界のはざれ」

10回目の節目の年を迎えた「グローバルマインド賞」(大阪国際学園・毎日新聞社共催)は先

の学報(第17号)で報じたよう

に974編の応募があり、前回の958編を上回り千編に迫る数字となった。

3回の学内審査を経た10編の作品が昨年12月17日の最終審査会に進み、梅棹忠夫氏(国立民族学博物館顧問)、大島 靖氏

など。

国際大大学院・総合社会科学研究科が発足

学部の質的向上、既設研究科との連携に期待

大阪国際大学大学院「総合社会科学研究科」の平成10年4月設置が、昨年12月19日に認可さ

なり、両研究科の密接な連携による成果も期待される。

個人指導のほか、セメスター制導入によって密度の濃い授業が展開されるなど、他にないユニークな特色を備えている。

大きく寄与することだろう。学部教育の一段の質的向上にも

総合社会科学研究科はその名の示すように、社会科学を総合的・国際的に研究する▽法学専攻と▽国際政経専攻(国際政治コ

直に伝える事が国際人としての基本的なマナーであり、自他を識別するためのアイデンティティを確立する第一歩であるとした國安清香さんの「マザーテレサから学んだ国際人としての在り方」の3作品が目玉された。

審査会では、「世界を女性らしいパッチワークに喩えた視点がユニークで、文章もよくまとめ上げている」として安東さんの作品にグランプリ賞が、そし

て「異文化をそのままコピーして、自国の文化にしようとしている現状に警鐘を鳴らしている論点が素晴らしい」という点が評価された上野君に準グランプリ賞が、そして國安さんへは毎日新聞社賞が贈られた。その他7作品に関しても上位3作品とほとんど遜色なく、紙一重で佳作にとどまった。また、学校賞は応募総数、学内審査の通過者数などが評価され、東京・私立吉祥女子高等

学校が満場一致で選ばれた。この結果を基に12月23日に毎日新聞全国版の紙面にて受賞者発表、さらには29日には上位3作品を同紙上で紹介。また、賞状・盾・副賞は年内に受賞校へ発送。また、安東さんの受賞作品を含む入選10作品は、応募者一覽とともに小冊子にまとめ、参加賞と共に2月下旬応募者・応募高等学校に送付された。



大阪国際大学政経学部教授
小寺 初世子著

「地球のうえの女性 男女平等のススメ」

東信堂・一九〇〇円184頁



女子差別撤廃条約について書かれたこの本の評者として、私は二重の意味で不適格であること、最初に告白しておかねばならない。第一に、私は国際法はおろか女性問題についても全くの門外漢である。第二に、より重要なことだが、それではおまへは生活、とくに家庭生活において、男女平等を実践しているかと問わ

女性会議という二つの会議に出席した様子を紹介しながら、そこでの議論が要約されている点である。これを読んでいると、読者はまるで自分が著者とともにこれらの会議に参加し、そこで議論の場に立ち会っているような錯覚にとらわれる。こういう叙述スタイルが、本書を退屈な条文解説とはひと味もふた味

も違ったものになっている。次に、本書が女性の地位委員会などへの通報制度について詳しく触れている点である。不勉強な私はこういう制度があることを、この本によって初めて知った。おまけに、巻末には通報書の書式まで付けられている。まことに、かゆいところに手が届くような行き届いた本である。

こうした叙述の方法と内容の両面に亘る工夫によって、本書は女子差別撤廃条約についての単なる解説書にとどまることなく、今日の我々にとってこの条約が持つ意味をいきいきと描き出すことに成功している。女性の読者は、著者の希望するように、この本を大いに活用してもらいたい。そして、我々男性にとっても、この問題こそは人権感覚を問われる最後の試金石に違いない、というのが本書を読了したの偽らざる感想である。

(評者・大阪国際大学政経学部 教授 山本周次)

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学

大学院 経営情報学部・政経学部 留学生別科

- 4. 2 入学宣誓式、英語学力テスト、保護者懇談会
- 4. 6 新入生・在学生オリエンテーション(～8)
- 4. 9 新入生履修オリエンテーション(経情)
- 4.10 新入生履修オリエンテーション(政経)
- 4.13 前期授業開始
- 4.23 新入生フレッシュマンキャンプ(～24)
- 7.10 前期授業終了
- 7.13 前期補講(～14)
- 7.15 前期試験(～27)

大阪国際女子大学

人間科学部社会コミュニケーション学科・人間健康科学科
国際コミュニケーション学科・スポーツ行動学科

大阪国際女子短期大学

家政科・幼児教育科・国際文化学科

- 4. 2 新入生登学日
- 4. 3 入学宣誓式
- 4. 8 新入生学外オリエンテーション(～9)
- 4.13 前期開講
- 7.17 前期終講
- 7.21 集中講義・補講(～23)
- 7.24 前期試験(～31)

大阪国際滝井高等学校

- 4. 7 新入生登校
- 4. 8 入学式、始業式
- 4.10 新入生オリエンテーション(～11)
- 4.25 芸術鑑賞
- 4.30 身体測定
- 5. 1 1、2年遠足
- 5. 1 3年進路研修(～2)
- 5.16 3年進路説明会
- 5.21 中間考査(～26)
- 5.中甸 豪トラック校へ交換留学(4週間)
- 6. 9 保護者会(～12)
- 6.18 コーラス大会
- 7. 1 期末考査(～6)
- 7.15 修学旅行(オーストラリア)(～21)
- 7.16 修学旅行(北海道)(～21)
- 7.17 修学旅行(カナダ)(～8/7)
- 7.18 終業式

大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

- 4. 7 入学式予行・クラブ紹介
- 4. 8 入学式、始業式
- 4. 9 新入生オリエンテーション(～10)
- 4.24 カナダ研修(～5/12)(高校)
- 4.25 3年進路講演会(高校)
- 4.30 遠足
- 5.20 中間考査(～23)
- 5.23 オーストラリアから生徒来校(～5/30)
- 5.30 体育祭
- 7. 1 期末考査(～4)(高校2年)
- 7. 7 期末考査(～13)(高校1、3年)(中学)
- 7.10 修学旅行(～15)(高校2年)
- 7.18 終業式
- 7.22 林間学舎(～24)(中学)
- 7.29 学習合宿(～8/4)(中学)
- 7.31 カナダ語学研修(～8/20)(高校)
- 8. 1 イギリス語学研修(～22)(高校)

大阪国際大和田幼稚園

- 4. 7 入園式
- 4. 8 始業式
- 5.13 園外保育
- 5.31 日曜参観
- 7. 5 音楽発表会
- 7.18 終業式
- 7.21 夏季保育(～24)

ラグビー部

(敬称略)

- 国際大 軟式野球部 9/2、10/30 1997年度西都大学軟式野球連盟秋季リーグ戦1部リーグ 2位▽最多勝利投手賞、最高防御率賞、最多奪三振賞に小林一哉(政経4)
- 11/10、14 第14回西日本大学軟式野球選手権大会 準優勝
- 11/18、12/9 西都軟式野球連盟新人戦 優勝
- ラグビー部 優勝
- 11月 関西大学ラグビーDリーグ 2位
- 3/1 奥村真吾(経情4)▽開塾利次(政経3)▽小笹和也(経情2)▽田中良憲(政経2)が平成9年度関西大学ラグビーリーグD1ブロックベスト15に選出
- 女子大・短大 ソフトボール部 11/2、3 第14回関西学生ソフトボール新人戦 3位
- バレーボール部 11/11、12 第43回近畿私立短期大学女子総合体育大会 ベスト8
- 滝井高 バレーボール部 12/17、19 第16回近畿私立高等学校バレーボール選手権大会 準優勝
- 大和田高 ソフトテニス部 1/17、18 近畿インドア大会出場 波戸良枝、谷口佳江(以上)ペア

同窓会だより

滝井高「撫子会」7月に65周年記念総会

大阪国際滝井高校の同窓会「撫子会」が7月5日、リガロイヤルホテルで「65周年記念総会」を行う。

これに伴い、記念の新聞「撫子会だより」を発行する。

大阪国際大学

▽岸田祐子(コミ4) (実用英語) 技能検定準1級合格

大阪国際女子大学 資格取得奨学生

平成9年度 大阪国際女子大・短大 学長表彰

▽木村なお子(女子大コミ1) (英語スピーチコンテスト大阪市長賞受賞)

▽杉本 悠、服部豊子(以上女子大コミ3)、濱田智美(短大大家政2)、白藤ゆかり(同英語2)、小林由佳里(同国際2) (秘書技能検定準1級合格)

▽只腰紋子(短大国際2) (システムアドミニストラータ、日本語文書処理技能検定試験2級、秘書技能検定準1級合格)

▽大西美奈子、小倉彩佳(以上短大国際2)、杉 恭子(同国際1) (システムアドミニストラータ合格)

平成9年度 国際大 模範行為者表彰

▽小林和哉(政経4)、林 昌豊(経情3) (全日本大学選抜台湾親善軟式野球大会に選出され優秀選手賞)

▽西岡洋洋(政経4) (1997年度西日本強化指定選手及び第8回関西学生男子テニス2部ベスト10プレーヤーに選出)

▽上村武史(政経4) (関西学生バスケットボール4部リーグ優秀選手賞)

▽仲尾智之(政経1) (関西学生選手権水泳競技大会3部個人メドレー第3位)

▽片岡秀樹(経情4) (日本商工会議所簿記検定試験1級合格)

▽由良貴志(経情4) (第二種情報処理技術者試験、初級システムアドミニストラータ試験合格)

▽北脇輝邦(経情3) (第二種情報処理技術者試験合格)

▽佐藤敬信(経情1) (初級システムアドミニストラータ試験合格)

▽今井宏明、大田晶子、吉田幸平(以上経情4)、堀井 司(経情3) (日本商工会議所簿記検定試験2級合格)

大阪国際大学(経営情報学部95年卒) レッキス工業株式会社 生産管理部 中居 千賀

「手話」を通じて

「手話」は小学生の頃、通っていた幼稚園で講習会が開かれたので参加し、自己紹介だけ身につけて帰ったきり、以後無縁のものとなっていました。でも、ろうあ者を雇用しているこの会社に入り、今では「手話」は日常のもの。入社一年半は通訳してもらっただけで、ろうあ者とのコミュニケーションはわずかでした。手話している横で私は頭に?マークをつけ笑顔でごまかすしかありませんでした。ちょうど部署も変わり、仕事上ろうあ者と接する機会が増え、「このままではいけない」と思い、積極的にコミュニケーションをとる心がけました。まず「指文字」を五十音順に覚えたり、始業前のひと時や休憩中に接する事によって、前より理解力もつきました。最初は難しかった手話でしたが、意味や由来を知ることによって覚え易くなりました。しかし、完璧でない失敗も多く、部品がいつ入るのかの質問に、昨日と明日を間違え混乱させたこともあり。 (人差し指を肩の後方へ動かすのが昨日、前方へが明日)

ろうあ者は、健常者が手話を覚える事はうれしいと言います。私自身も人の輪が広がり、良かったと感じています。私の他にもスキー、釣り、登山にと様々に交流されています。これからももっとスムーズに手話ができる様、日々努めたいと思います。

女子大フリンダース大学派遣留学生

▽井上賀代(国際コミ1)▽奥平真弓(コミ1)▽奥野豊子▽刈谷真梨子▽腰高亜紅子(以上コミ2)▽倉上 緑▽武田寛子(以上コミ3)

大和田高ジロン・グラマー・コライオ校派遣留学生

▽諏訪原智美▽菊村孝子▽永田勢理子(以上)

資格取得者

国際大 第二種情報処理技術者試験合格者

経情3 北脇輝邦 同4 由良貴志 初級システムアドミニストラータ試験合格者

経情1 佐藤敬信 同4 由良貴志 TOEIC 団体試験(1月15日実施) 96人中400点以上は17人。550点以上は次の通り。

奥田政三教育・研究基金奨学生

安部かおり(経情3) 日商簿記検定試験2級合格者 (11月16日実施)

丸一鋼管株式会社 営業部 永田 理恵

大阪国際女子短期大学 国際文化学科91年卒

女子大フリンダース大学派遣留学生

▽井上賀代(国際コミ1)▽奥平真弓(コミ1)▽奥野豊子▽刈谷真梨子▽腰高亜紅子(以上コミ2)▽倉上 緑▽武田寛子(以上コミ3)

大和田高ジロン・グラマー・コライオ校派遣留学生

▽諏訪原智美▽菊村孝子▽永田勢理子(以上)

OB・OGレポート

趣味が高じてフラワースクール主宰

卒業後、学校推薦で今の会社に入社し、今年で社会人8年目になります。数年前より趣味としてフラワーアレンジメントを習い初めました。現在も勉強中ですが、趣味が高じてライフワークの一環にと、大阪国際学園サテライトの一角をお借りしフラワースクールを行っています。

きっかけは、社内での華道部発足で、花の魅力に取りつかれ現在に至ります。就業後毎日フラワースクールに通ったりと大変な時期もありました。しかし自分が確実に成長しているという充実感の方が大きく、苦にはなりません。交友関係も同じ夢を持つOJや学生、インターフローワールドカップチャンピオンの村松文彦氏やスー・アータスさんといったように多種多方面に広がり、夢のある暮らしの素晴らしさを教えられました。人に教える事はとても大変ですが、生徒さんの感性から、たくさんの刺激を受けることができるともプラスになります。私の夢は、どんなスタイルのアレンジメントでもこなせるトータルフラワーコーディネーターです。これからは夢に向かってがんばって行きたいと思っています。皆様も自分の夢や、目標を持って進んで下さい。これからの時代、自分の進む道をしっかり持つ事が大きなキーワードだと思います。そしてチャンスを活かして夢を勝ち取って下さい。

国際大隣接の“緑立つ道”

キャンパス周辺散歩

大阪国際大学(枚方市杉3丁目)に隣接して通過する第2京阪道路(愛称・緑立つ道)は計画30年近くを経て、ようやく具体化の気運が高まっている。京阪間の交通渋滞解消の切り札

国際大(左下)前を通過する第2京阪道路(緑立つ道)のイメージ図(浪速国道工事事務所提供)

に“21世紀を走る道”として計画され、建設省・日本道路公団では全体はできるだけ早期に、枚方市から京都方面へは21世紀初頭の完成を目指しており、早期実現への期待は高まる。ただ、

経情4 大田晶子、吉田幸平 国内旅行業務取扱主任者資格試験合格者

短大国際1 清水洋子▽鳥永かおり▽藤井裕恵▽宮岸菜津美▽宮本知枝▽山口美香

平成9年度国家試験一般旅行業務取扱主任者資格取得者 (10月12日実施)

女子大コミ3 倉上 緑 同4 河村唯代▽澤田弥生▽野口淳子▽短大国際2 榎本陽子

TOEIC 団体試験 (11月15日実施)

45人中400点以上は20人。550点以上は次の通り。

女子大コミ2 宮田梨永 同コミ4 平田雅美▽浅野都史子▽短大英語2 六車真理子▽金光幸代▽西岡紀子 同国際2 小林由佳里

第2回英検2級合格者 7人

第29回国際1級 恭子 同2 藤井沙織▽水野郁子▽南 晃江 同家政2 田桑葉子

日商簿記検定試験3級合格者 (11月16日実施)

女子大コミ2 辻 紀子 同人健 1 中村絵美 短大英語2 久美田利恵

第53回秘書技能検定準1級合格者

女子大コミ3 杉本 悠 服部豊子 短大家政2 濱田智美 同英語2 白藤ゆかり 同国際2 小林由香里

同2級合格者 73人

京都側で部分開通へ

大学周辺では道路幅が100mを超す大幹線だけに、騒音など環境対策に万全を期して良好な教育環境の保全に努めてもらいたい。

第2京阪道路は、京都・久御山町の京滋バイパスと大阪・門真市の近畿自動車道とを結ぶ26.4*の道路。自動車専用道路の第2京阪道路(6車線)に国道1号バイパス(2+4車線)が併設され、「緑立つ道」と愛称される。京都府域は昭和60年に都市計画決定され、用地買収も9割は進んで建設工事中。一方大阪府域は昭和44年、46年に都市計画決定されたものの見直しが行われ、都市計画変更を終えたのは平成4年で、用地買収は京都の約半分。しかし、国道1号の交通渋滞は悪化するばかりで、早期開通を望む声が大い。そこでこのほど、地元・枚方市や

大阪府と道路事業者が協議を重ねた結果、枚方市の東西を走る国道307号以北から京都までを部分開通させることになった。計画によると、緑立つ道は国際大キャンパスの南端をかすめる。しかも、自動車専用道路、国道、副道と一帯の道路幅は100m以上。まだまだのどかな大学周辺は、この大幹線によって景観が一変することだろう。

昨春から地元説明会を、そしてこのほど境界立会いなどが相次いで行われ、今後は用地測量・買収などを経て工事に着手する。枚方市東部に位置する国際大の学生の多くは、京阪枚方市駅からバスで307号経由で通学、渋滞に悩まされてきた。それだけに、環境に配慮した緑立つ道の早期実現と関連道路網の整備に熱い眼を注いでいる。

足立・山田ペアみごと準優勝

秋季団体テニス成年女子足立さんは監督兼任

昨年10月の「なみはや国体秋季大会(第52回国民体育大会)」で、短大1回生の足立守世さん(国際文化学科)と山田恵都子さん(家政科)が大府代表としてテニスの成年女子団体の部で見事準優勝を飾った。

2人は大阪テニスアカデミーに所属し、高校3年の夏からペアを組んでいる。これまでも数々の輝かしい成績を残し、一昨年の広島国体にも出場。「お互いの事は知り尽くしている」という2人は、テニスはもちろん普段からも息がピッタリ。

足立さんは今大会、成年女子の監督を兼任するという重責も果たした。

「準優勝したことで自信にもなったが、新たな目標もできた」という2人の目標は「優勝」。

そのためには今年も代表に選ばれることがまず大事。国体に向けて、2人の練習にも一段と熱が入る。

国際大アメフト 創立10周年パーティー

国際大アメリカンフットボール部創立10周年記念パーティーが2月15日、大阪市内のホテルで開かれた。

パーティーには、部員やOB約80名が出席。奥田吾朗理事長も出席してこれまでの健闘をたたえ、今後の活躍に向けて激励した。

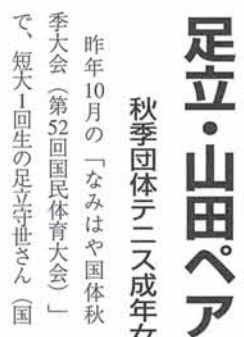
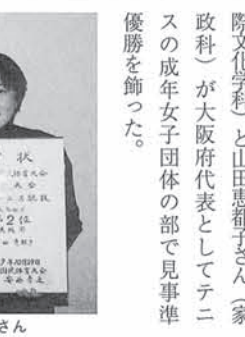
大和田高ソフト 7年ぶり3回目の選抜大会出場

大和田高校ソフトボール部は、昨年11月に行われた「第26回大阪高校別大会」で見事優勝し、7年ぶり3回目の全国選抜大会出場を決めた。全国選抜大会は3月21日から23日、全国から32チームが出場して東京の江戸川区球場などで行われた。

滝井高バレー 7年連続10回目の全国大会へ

滝井高校バレーボール部は、2月21日に行われた春の高校バレー府大会決勝で、大阪女短大高校に敗れたものの準優勝し、7年連続10回目の全国大会出場を決めた。全国大会は3月20日から7日間、東京・国立代々木競技場で開催。

同部は、平成4年と6年の大会で全国制覇を果たしている。



就職自由化元年の総括

過去最多の求人件数

大阪国際大学

今年度就職内定率は、中間ずつと昨年度並に推移しているが、卒業時に良好とは言えないが、卒業時点ではほぼ100%となる見通しである。

今年度は、求人件数が1,758件と第一期生への求人1,514件を抜いて過去最高を記録し、学生にとってはよりどり見どりの年であった。しかし年度当初から経済に暗雲が垂れ込めていて、学生は企業を選ぶのに非常に慎重で、こういう時期に一生を託する先を決めるのは大変だと、時間をかけた選択をしているように見受けられた。

就職協定廃止元年のために採用秩序に多少の乱れはあったが、当初予想した通りの早期化・長期化の割には、学生、企業とも落ち着いた対応をしていたと思う。

(就職室長 田中 祥夫)

筆記重視から面接重視へ

大阪国際女子大・短大

今年度は就職協定が廃止された就職自由化元年であった。大学側での申合せと企業側での倫理憲章制定はあったが、会社説明会が3月から始まるなど早期から採用活動が行われた。早期化・長期化・多様化が今年度の就職戦線の特徴づけられている。

就職戦線の状況については、いわゆる氷河期がやると終り女子にも薄日がさしているという報道が多く、平成8年度に7年ぶりに上昇に転じた新卒求人倍率は今年度も上昇し平成3、4年頃の水準に戻った。しかし女子については横ばい程度の厳し

が未定だが、かなり厳しい数字になるのではないかと危惧している。

(就職室長 近藤 徹)

入試 厳しい状況

併願大学絞り込み加速

大阪国際大学

今年度入試の結果からいえることは、残念ながら志願者がかなり減少したということである。経営情報学部で32.5%、政経学部で32%、全体として32%それぞれ減少という厳しい結果となった。

この主な原因としては、少子化による全体的な進学者数の減少に加え、併願大学の絞り込み(文系浪人生の減少による影響も大)がかなり進んだことがあげられる。本学の推薦入試の状況を見ても、合格者の入学手続き率(入学金納入時)が予想より高く、一般推薦で経営情報学部が48%、政経学部が54%で、この点からも絞り込みが例年よりも進んでいることが窺える。このことは有難い反面、合格者数決定の難しさを改めて認識させられた。

試験日選択制導入や 女子大で3会場入試

大阪国際女子大・短大

平成10年度一般入試は、さる2月3日・4日に短大3学科、5日・6日に大学4学科が行われた。今回、試験日選択制が新規に導入され、大学の場合は、岡山会場に加え新たに名古屋会場を設置、本学と合わせ3会場同時実施の入試となった。志願者を見ると、大学・短大とも減少傾向にあるものの、全般的に受験者のレベルはあがっており、量から質への転換期を迎えているといえよう。

今後入学者確保に向け、推薦・一般合格者の歩留まりをいかに高めていくか、これが大きなポイントになってくる。

さて、これからも学生募集に

(入試室長 小西康弘)

応募者低落に歯止め!?

大阪国際滝井高校

関係して厳しい状況が予想されるが、今後は、志願者数の確保以上に、いかに入学者数を確保するかが大切なことと考えられる。そのためにより良い方策を考えるとともに、他方、一人でも多くの受験生獲得をめざして、今までの以上の精力的な募集活動の展開が必要であろう。

募集策に検討の余地

大阪国際大和田中学校

本校も過去2年の募集・広報活動を教育の原点から厳しく分析し直し、広報対象、内容、方法を明確にし、新キヤッチ「Soft & Smart」を浸透させた。今年新しく取り組んだ内容は(1)本校の3つのコース名を英語名で統一し、各コースの教育内容をわかりやすく整理しなおした。(2)各コースの内容と特色を簡潔にまとめ、受験生対象に「入学案内」を、保護者・教員向けには「リーフレット」を作成し、浸透をはかった。(3)オープンキャンパスを3回開催し、高校生活を受験生に実際に体験してもらったこと。(4)受験科目を5教科から3教科に減らし、受験しやすい学校として印象づけたこと。

受験機会増大による影響大

大阪国際大和田中学校

今年も昨年と同じく3学級90名(1次60名、2次30名)の募集を目標に活動して来たが、高校と同じく、少子化と経済不況、

られるが、それにもまして本校教職員が一致協力して、存亡をかける危機感をもって対処した結果、当初募集数245名を上回る新入生を確保できる見通しとなった。

(校長 奥田三郎)

270名に対して専願177名と併設中学より56名で確定数は約233名であり、募集予定数より37名減になり、戻りが昨年は39名であったので甘い読みかもしれないが募集予定数はどうにかクリア出来ると思うが結果待ちである。大和田高校に対する評価と質的なものは下っていないので、今後どの様に募集対策を打つべきか検討の余地がある。

そして受験日1月15日開始の自由受験で1人4、5校受験可能となり、知名度の低い大和田中学校は苦戦の連続である。有名中学校は募集人数の5、6倍の所が多くあるが、我々は60名に対して20名、30名に



国際大でのセンター試験風景



大和田中学校の入試風景

DATA 平成10年度 入試結果

大阪国際大学	志願者数	合格者数
経営情報学部	2,170	865
政経学部	1,460	689

大阪国際女子大	志願者数	合格者数
	1,453	1,168 (第2志望での合格者を含む)
		(推薦、一般1期、一般1期含む)

大阪国際短大	志願者数	合格者数
	1,419	1,078 (第2志望での合格者を含む)
		(推薦、一般含む)

大阪国際社会福祉専門学校	普通科	専願		併願	
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
	アカデミック(標準)	177 (126)	*183 (*127)	642 (482)	*653 (*485)
	グローバル(国際)	45 (35)	39 (33)	124 (105)	116 (102)
	エクセレント(特選)	15 (10)	11 (9)	90 (41)	81 (39)
	1.5次	6 (4)	6 (4)	— (1)	— (1)
	合計	243 (175)	*239 (*173)	856 (629)	*850 (*627)

*同じ合格者含む()は前年度

大和田高等学校	普通科	専願		併願	
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
	英数	67 (104)	55 (91)	409 (389)	323 (297)
	普通	110 (152)	*121 (*163)	349 (318)	*432 (*406)
	合計	177 (256)	*176 (*254)	758 (707)	*755 (*703)

*同じ合格者含む()は前年度

大和田中学校	普通科	専願		併願	
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
		1次	62 (69)	61 (60)	
	2次	20 (32)	17 (19)		
	合計	82 (101)	78 (79)		

()は前年度

62名、30名に對して20名の応募であり、もろに知名度の差を受けた感じである。結果として1次60名、2次17名の計77名の合格者を出したが、歩留りが読めない状況である。今後募集対策の検討が必要である。

(中・高校長 関 榮義)



新しい修練の場に移るに当って 大阪国際大学学長 川又良也

諸君の殆んどが1994年に入学され、その時に式辞を述べられたのは、いわば本学の創始者として当時学長であった故奥田省吾博士であった。前学長は黄泉に旅立たれ、それが最後の入学式辞となった。そこで、こう言われた。「高校と違って大学では、棚ボタのように待つては、何もし落ちてこない。皆さんに「教えてほしい」という強い意思がないかぎり、これからの4年間は全く無意味なものとなる。強い意思と気持ちがあれば、それは先生方に必ず通じやすい。いろいろな生活を送るだろう」と。いろいろなコンテキストにおいてわが国の置かれた国際的地位を理解することは、本学のモットーであるグローバルマインドをもつことである。それを

真に自分のものとするには、教えられるのを待つという受身の態度ではなく、積極的に学びとることが必要だと前学長は言われたのである。われわれは、諸君のそうした積極的な姿勢に心をなやませ、諸君は、自分なりにグローバルマインドを養得したと信じて、

「卒業とは、業を卒業する」と書くが、これでは学業は終わらないうことではない。英語で卒業は、graduationだが、それはこの段階から次の段階へ移ることを意味する。辞書には「to pass from one stage of experience, proficiency, or prestige to a higher one」とある。つまり、学校を卒業することは、次の新しい修練の場へ移ることであり、前のステージからいよいよ業をおさるようになるが、新しいステージから新しいスタートを切ることにいる。

では諸君がこれからスタートを切るには、どんなステージか。昨年の卒業式で私は、19世紀末を指してフランスの小説家プルーストが世紀末とよんだことになぞらえ、20世紀末の今の混沌の世について述べ、その諸君を送り出す

に当り、有効な錢(はなむけ)の言葉を送るべきでないことに胸の痛みを覚えること述べた。率直に申して、今年も同じ気持ちで諸君を送り出すとしたい。しかし最後に言いたい。よく個性が尊重される時代であり、獨創性が求められる時代だ。また従来の常識は、今後は通用しなくなることもいわれる。確かに個性や獨創性は尊重されるべき徳性であり、価値体系の変化に伴い考え方に変更があるのは当然である。けれども先達が残してくれた知識を学ぶことの困難を回避して獨創的とか新しい考え方や名前の名のもとで十分に考え抜くことなく容易に思い通りに進んでいくことを諸君の身に付けたい。

ある経済学者が述べたように、進行中の経済改革のソフトウェア・インフラは、中身の改革のハードウェア・インフラは、足りない。だとすると、その学者の考え方は、よければよほど、その学者の考え方をいかに活かすか、その場合に重要なこととは指導者と国民がどれほどタフに耐えるのかというところであり、その意味で極端な悲観論から来る精神の萎縮こそが最大の敵となるということになる。希望を持ち続ける諸君の若さを信じ、諸君が本学で学んだことを基に新しいステージで、精神的に萎縮することなく健闘されることを祈つてやまない。(3月25日の国際大卒業式での式辞要旨)

卒業おめでとう (学長あいさつ)



素直な心で切磋琢磨

大阪国際女子大・短大 三木正伸

長野オリンピックは、大きな感動を与えてくれた。ノルディック(複合)では見事に萩原兄弟が4・6位に入賞。ジャンプではノーマルヒルで船木選手が銀、原田選手5位、ラージヒルでは船木、原田選手が金、銅メダルを獲得。スピードスケートは清水選手が金、銅を獲得。女子5000mも岡崎選手が銅を、島崎選手が5位に入賞。モーター女子は、里谷選手が堂々の金メダル。水上ではショートトラックで金、銅のメダルを獲得した。冬期オリンピックでの日本

人の大活躍は、札幌オリンピック以来、これだけの成績を納めることが出来たのは、選手やコーチ陣の指導力も見逃せないが、他にも大切なことが二つあった。一つは、よきライバルを得て互いに切磋琢磨していったこと。清水選手と

もう一つは、船木選手がインタビューに答えている言葉に象徴される。「よく日本人初とか偉業とかいわれるが、日本という国の中でしか見えないものではない。世界に目を届かなくならない」。そして「今回の優勝は嬉しく、国歌や国旗が素晴らしい」とは要旨

今年度卒業生からのコメント (10年後の日本と私)

1面つぎ

れるようになればよい。理想もつかないが、結婚はしたい。パリのキヤリアウマンになる気はないが、仕事、趣味、ボランティア、どんなかたちでもいいので世界とつながりを持ちつづけた

井上真紀子さん (前学友会長)

①人間科学部人間健康科学科②就職予定③情報化社会は進歩し続けており、人はどんどん怠慢になつてい、その他の面に関しては現状維持、もしくは今より悪化しているのではないだろうか④32歳。結婚して優しい夫と3人の子供に囲まれた、ほのぼのとした家庭で幸せにくらしているはずだ。

大阪国際女子短期大学

濱田智美さん (平成9年度 学長表彰者)

①家政科②大阪国際女子大学人間健康科学科3年次編入③今よりもっと多くの女性が活躍できる社会になつてほしい④どんな立場でどんなことをしていても何らかの目標を持ち、それに向かつて前向きに生きていってほしいです

白藤ゆかりさん (平成9年度 学長表彰者)

①英語科②株式会社ジェイアール西日本ホテル開発③世の中のコンピュータがより発展し、複雑になるだろう。便利さを追求するあまり、機械に頼りすぎる世の中になるのでは。21世紀になつても日本の伝統や良いところは忘れず受け継いでいきたい④10年経つと私も30才、できれば結婚して子供がいたらと思う。結婚しても仕事は続けたいと考えているので多忙な生活を送っているだろう。平凡だが幸せに毎日を送ることがなによりだと思ふ。それから、私には夢があり、その頃までにその夢を実現させたい

ひと 阪神大震災遺児 明日への旅立ち NHKドキュメンタリーに登場



大阪国際女子短大1回生 嶺 綾さん

成人の日特集(1月15日)のNHKドキュメンタリー番組「明日へ」阪神大震災 遺児たちの旅立ち」は全国的に反響を呼んだが、嶺 綾さんも登場者のひとり。自ら奇跡的に助かったが、唯の家族である母を亡くした遺児で、なごり自問自答のあけく自分の生き方をさぐるため本学で学ぶ。「母の分まで生きる」決意を秘めているがその表情に負気はなく、若い被災者仲間や学内でも明るいリーダー格。番組は再(1月17日)再々放送(2月12日)され、彼女の健気(けなげ)な生き方に賛辞や激励の手紙が相次いだのもうなすける。

健気な生き方で聴衆魅了

が生き残った。ショックのあまり精神的にもおかしなところがあった。「心の傷に勝つて強い力を持つ」と立ち直るには1年近くの月日が必要だったが、持ち前の明るさと勇気で元気をとり戻していった。

4月から2回生の嶺さんは、来年度成人式を迎える。「母の分まで精一杯生きよう。それが母への償いでもある」。心の傷はいつまでも癒えることはないが、さよとも明日への旅立ちに向けて装束を整えている。

大音典子さん (全国優勝ソフトボール部で活躍)

①幼児教育科②枚方信用金庫③日本人は他人任せで自分の意志や意見をしっかりと持っている人が少ない。このままだと景気はもうろく政治的にも世界からみた日本の立場は悪くなる。一方で、良くはならないと思う④高齢者がますます増える為、たとえ自分が結婚をしても、していかなくても身近な高齢者の手助けや世話の出来る人になりたい

真野邦子さん (前バレーボール部主将)

①標準コース②大阪国際女子短期大学③少年事件など悪質な事件が多い発しているから、すく未来がこわい。今の家庭では一体どんな生活を送っているのかと疑問だ。だから10年後、このまま悪化していつ新しい生活習慣ができてくるかもしれない。暗い未来のイメージが強いけど、その反面スポーツで世界を舞台に活躍していく日本人が多くなつていこうと思う。サッカーだったり明るい10年後の日本も想像している。まずは、身近な未来の長野オリンピックでの日本人の活躍をすく期待している④保母さんの免許を取り保育所だけでなく、孤児院などでも小さい子の世話もしてみたい。いろんな所で自分の良さを発揮して働いているだろうと思う (平成10年1月31日回答)

植田佳代子さん (前生徒会長)

①標準コース②関西外国語大学短期大学部③医療がもっと発達して、その上で高齢者の増加が激しくなつていく。しかし、高齢者や障害者に対する介護のあり方は改善されていない。まだまだと思う④せつかく外国語を思う存分学べる短大へ進学できるので、外国語を活用した職業についていたいと思う

菜内理恵さん

①普通コース②京都外国語大学外国語学部英米語学科③技術革新の波がいつそう高まり、人は便利になつていくに満足するだろうが、人とのつながりの薄さには気がかたくなる。そんな悲惨な日本にならないために、くらし同様、人の気持ちも豊かになるような日本を期待する④理想は、この学校生活を含めたこれまでの経験に基づき、人間的にも精神的にも豊かな人になること。社会に出てからも新たなことをどんどん吸収し、理想の自分に近づきたい

大阪国際大和田高等学校

星加理恵さん

①英数コース②神戸大学工学部③環境破壊が進行してかなりやばい状態にあるので、私が研究を進めて何とかするつもりです④希望としては、研究室に入って地球環境に関する研究を行っていただけるといいと思う

本紙に関するご意見、ご感想などをお待ちいたしております。電子メールも活用下さい。アドレス kono@ha.ou.ac.jp

本紙に記載の学年、肩書き等は全て97年度のもので、ご了承ください。